

住吉フィールドは 文部科学省教育関係共同利用拠点

「九州畜産地域における産業動物教育拠点」 として認定されました。

平成25年8月より5年間、宮崎大学農学部住吉フィールドは「九州畜産地域における産業動物教育拠点」として文科省より認定されました。

共同利用拠点制度とは多様化する社会と学生のニーズに応えるため、各大学の人的・物的資源を共同利用して有効に活用し、大学教育全体として多様で高度な教育を実施することを目的としています。

宮崎大学は、全国の畜産分野における教育・研究拠点として、住吉フィールドの有効利用を促進しています。当フィールドの技術と規模を活かした実習・研修・研究など、学外組織と共同した数多くの取組が行われています。

利用等について詳しくはこちらをご覧ください。
住吉フィールドHP → 共同利用拠点事業

<http://www.miyazaki-u.ac.jp/sfield>



宮崎大学 農学部 住吉フィールド (牧場)



国立大学法人
宮崎大学農学部附属
フィールド科学教育研究センター
住吉フィールド（牧場）

〒880-0121

宮崎市大字島之内10100-1

TEL：0985-39-1034

FAX：0985-39-8277

<http://www.miyazaki-u.ac.jp/sfield>



教育関係共同利用拠点の概要

『日本の食糧供給基地』宮崎
畜産、野菜、米ほか多数の農産物
全国和牛能力共進会日本一



食と農の安全を確保する
人材の養成

フィールド教育プログラム

- ・牧場フィールド体験実習コース
安全・安心な食の生産現場を学ぶ農場フィールド実習
- ・産業動物適正管理入門実習コース
畜産の健康と福祉を考慮した
適正な飼養・衛生管理を学ぶフィールド実習

高等教育
コンソーシアム宮崎
南九州大学
九州保健福祉大学
宮崎国際大学
他 計11校

各種学校・行政
関係団体等との
連携・卒業教育

全国の大学
(農学・生命科学)

東京大学
大阪府立大学
九州大学
東海大学 他

宮崎大学

九州畜産地域における
産業動物教育拠点

住吉フィールド
(牧場)

敷地面積 50ha
肉用牛 170頭
乳用牛 30頭
乳加工施設 宿泊施設

フィールド科学教育研究センター
産業動物防疫リサーチセンター
産業動物教育研究センター

住吉フィールドについて

宮崎大学農学部附属フィールド科学教育研究センター・住吉フィールド(牧場)は、宮崎市中心部の北約10kmに位置し、交通の便利な市街地にありながら総面積50haの敷地と約240頭の家畜を有する西日本最大級の大学附属牧場施設です。

住吉フィールドでは、家畜の健康と福祉を考慮し、飼養する約180頭の家畜(乳牛25頭・黒毛和種繁殖母牛50頭・子牛65頭・肥育牛40頭)に対して可能な限り放牧を主体とする飼養管理を行っています。広大な敷地を利用した粗飼料自給率100%の実績を活かして、家畜生産のみならず飼料生産から畜産物利用まで、総合的な畜産関連の知識・技術を実践的に学習することができます。平成27年度より養豚教育もはじまり、約60頭を飼養。また、畜産草地科学科や獣医学科その他の学科との連携により、家畜の行動や体の仕組み、病気の予防や公衆衛生、畜産食品製造など、多様な分野について学ぶことができます。

地域貢献活動の一環として、各種学校や企業の実習・研修、公開講座などを開催しています。また、地域の皆様に牧場に親しんでいただく住吉フィールド開放事業などにも積極的に取り組んでいます。



宮崎大学Milk



乳牛



豚

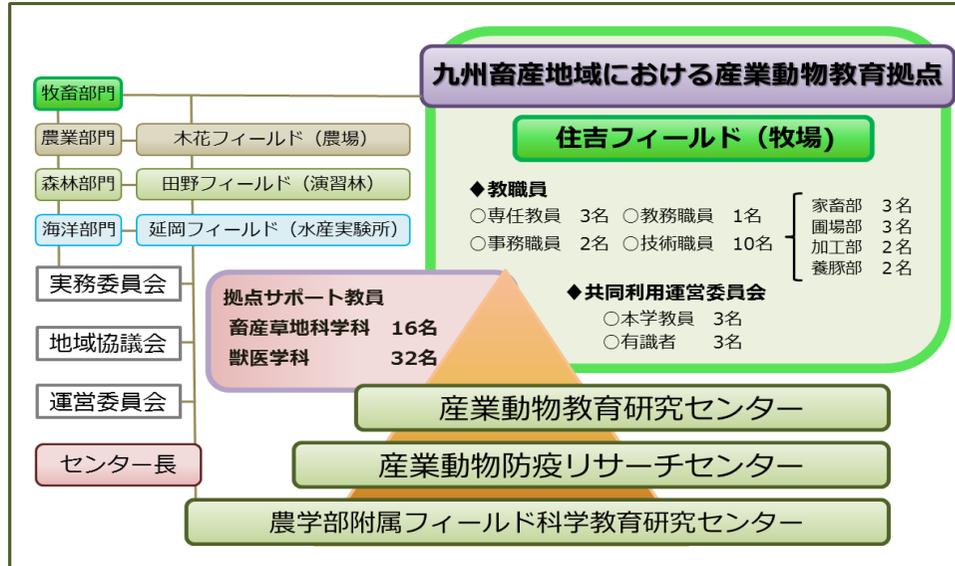


宮崎大学Beef

住吉フィールド(牧場)における教育・研究活動



住吉フィールドの教育・研究体制



住吉フィールドでは、宮崎大学農学部や畜産別科の学生のみならず、他大学他学部、および幼稚園から小・中・高、そして社会人に至るまで幅広い実習・研修・卒後教育等を行っています。

また、本学および学外研究組織と共同しながら、産業動物に関する最先端の研究を数多く行っています。

